

# おばま 市議会だより

No. 151

3月定例会の概要	.....	P2
平成29年度予算可決	.....	P4
政務活動費条例改正	.....	P7
市政を問う！一般質問	.....	P9

# 3月定例会の概要

平成29年第1回定例会  
が2月20日から3月21日  
まで、30日間の会期で行  
われました。

議事に先立ち、今年1  
月13日にご逝去された故  
宮崎治宇蔵議員のご冥福  
を祈り、黙祷が捧げられ  
ました。続いて、議会を  
代表して藤田善平議員が  
追悼演説を行いました。

今定例会では、平成29  
年度当初予算のほか、1  
月の想定外の積雪による  
除雪経費の増額も含め、  
各会計の平成28年度補正  
予算、条例、その他議案  
等の審議を行いました。  
主な内容については、  
次のとおりです。

## ●主な条例

◆小浜市職員の育児休業等  
に関する条例の一部改  
正について  
賛成全員で可決

◆小浜市地域包括支援セン  
ターの人員および運営  
に関する基準を定める  
条例の一部改正につ  
いて  
賛成全員で可決

◆小浜市農業集落排水処理  
施設および管理に関す  
る条例の一部改正につ  
いて  
賛成全員で可決

◆道の駅「若狭おばま」の  
指定管理者の指定につ  
いて  
賛成全員で可決

◆保育園管理下負傷事故に  
かかる和解および損害  
賠償の額の決定につ  
いて  
賛成全員で可決

## ●人事案件

◆農業委員会委員の任命に  
ついて

東 清俊(下田)  
岡田 昌樹(野代)  
西田 尚夫(三分一)  
福永 吉孝(熊野)  
松井 和幸(岡津)  
赤尾 裕子(木崎)  
玉井 絢子(小浜住吉)  
橋詰 忠和(遠敷三)  
松尾 志信(竹長)  
山本 聡(生守)

◆人権擁護委員の推薦につ  
いて  
賛成全員で可決

古谷 活や(上中井)  
上田知栄子(遠敷一)  
村山 典子(一番町)

賛成全員で可決

## ●意見書

◆参議院選挙における合区  
の解消に関する意見書  
賛成全員で可決

## ●市会案

◆小浜市議会政務活動費の  
交付に関する条例の一  
部改正について  
賛成全員で可決

## 【可決した平成29年度当初予算】

会計名	平成29年度	平成28年度	増減率	
一般会計	166億2,900万円	162億1,100万円	2.6%	
特別会計	94億1,012万円	95億2,329万円	▲1.2%	
内 訳	国民健康保険	35億7,280万円	36億5,762万円	▲2.3%
	後期高齢者医療	3億4,411万円	3億4,472万円	▲0.2%
	介護保険	31億8,143万円	31億7,985万円	0.0%
	簡易水道	9,600万円	8,646万円	11.0%
	下水道	16億9,723万円	17億3,872万円	▲2.4%
	農業集落排水	4億6,325万円	4億5,985万円	0.7%
	漁業集落環境整備	5,280万円	5,599万円	▲1.3%
	加斗財産区	5万円	8万円	▲32.5%
企業会計(水道)	8億9,977万円	8億6,854万円	3.6%	
合計	269億3,888万円	266億0,329万円	1.3%	

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

## 【可決した平成28年度補正予算】

会計名	既決予算額	1月補正額(専決)	3月補正額	合計
一般会計	174億3,949万円	1億2,000万円	1億8,039万円	177億3,988万円
特別会計	95億6,909万円		▲5,110万円	95億1,799万円
企業会計	8億8,127万円		▲507万円	8億7,620万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります



追悼演説の様子

# 平成 29 年第 1 回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

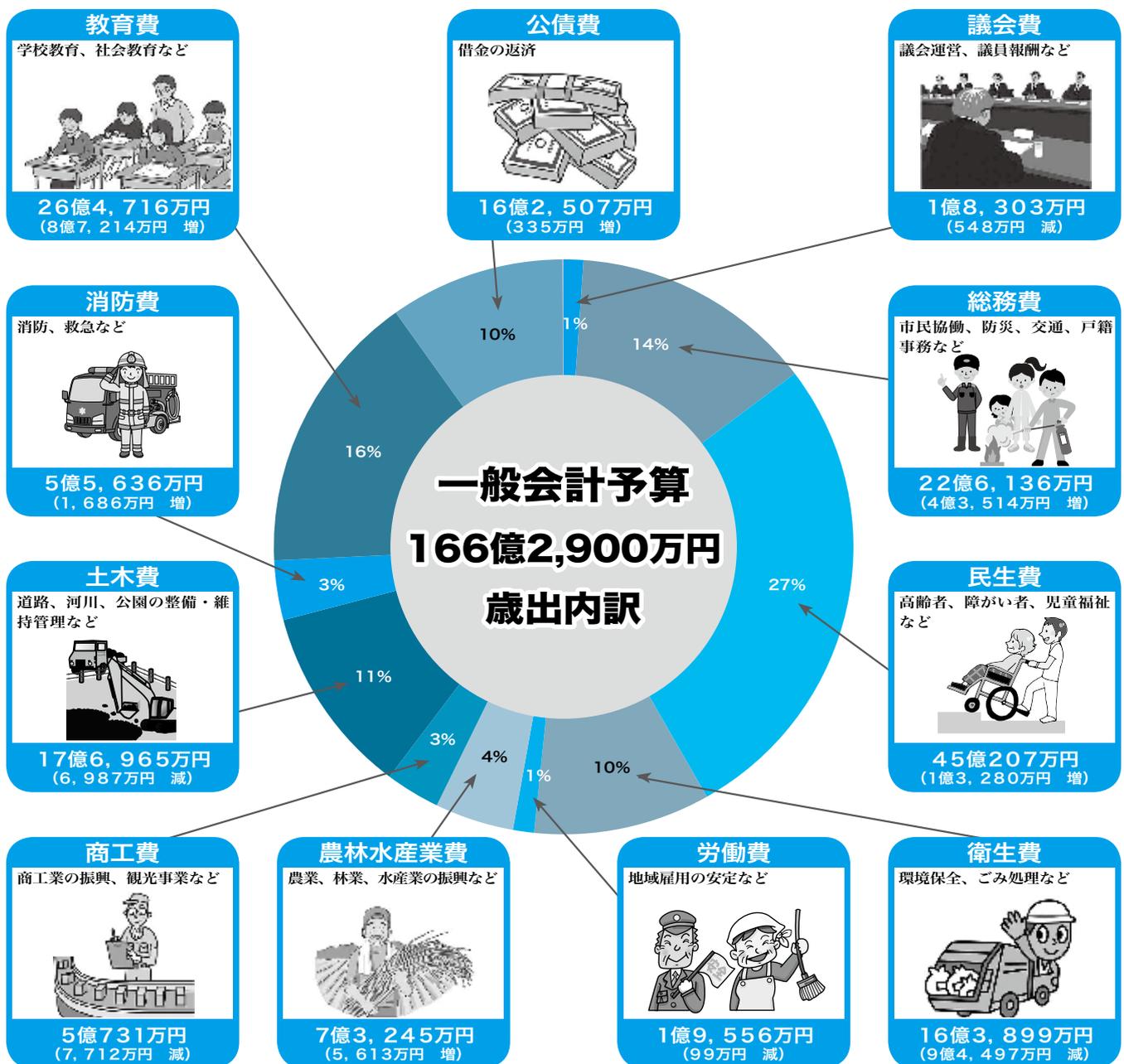
項目	件名	項目	件名
予算	専決処分につき承認を求めることについて(平成28年度小浜市一般会計補正予算(第6号))	条例	小浜市介護保険条例の一部改正について
	平成28年度小浜市一般会計補正予算(第7号)		小浜市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	平成28年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		小浜市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備および運営ならびに小浜市指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について
	平成28年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)		小浜市地域包括支援センターの人員および運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	平成28年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)		小浜市農業集落排水処理施設の設置および管理に関する条例の一部改正について
	平成28年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)		小浜市手数料条例の一部改正について
	平成28年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第3号)		小浜市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について
	平成28年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)		人事
	平成28年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第3号)	農業委員会委員の任命について(岡田昌樹氏)	
	平成28年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計補正予算(第1号)	農業委員会委員の任命について(西田尚夫氏)	
	平成28年度小浜市水道事業会計補正予算(第3号)	農業委員会委員の任命について(福永吉孝氏)	
	平成28年度小浜市一般会計補正予算(第8号)	農業委員会委員の任命について(松井和幸氏)	
	平成28年度小浜市一般会計補正予算(第9号)	農業委員会委員の任命について(赤尾裕子氏)	
	平成29年度小浜市一般会計予算	農業委員会委員の任命について(玉井絢子氏)	
	平成29年度小浜市国民健康保険事業特別会計予算	農業委員会委員の任命について(橋詰忠和氏)	
	平成29年度小浜市後期高齢者医療特別会計予算	農業委員会委員の任命について(松尾志信氏)	
	平成29年度小浜市介護保険事業特別会計予算	農業委員会委員の任命について(山本聡氏) ※熊谷久恵議員は除斥	
	平成29年度小浜市簡易水道事業特別会計予算	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(古谷活や氏)	
	平成29年度小浜市下水道事業特別会計予算	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(上田知栄子氏)	
	平成29年度小浜市農業集落排水事業特別会計予算	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(村山典子氏)	
平成29年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計予算	報告	小浜市環境基本計画の改訂について	
平成29年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計予算		小浜市地域福祉計画の改訂について	
平成29年度小浜市水道事業会計予算	意見書	参議院選挙における合区の解消に関する意見書	
条例		その他	道の駅「若狭おばま」の指定管理者の指定について
	若狭広域行政事務組合の設立について		
	辺地の総合整備計画の策定について		
	辺地の総合整備計画の変更について		
	保育園管理下負傷事故にかかる和解および損害賠償の額の決定について		
	小浜市農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について		
	小浜市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について		
	小浜市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について		
小浜市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正について			
小浜市一般職の職員等の旅費に関する条例の一部改正について			
小浜市特定個人情報保護条例および小浜市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について			
小浜市市税条例等の一部改正について			
小浜市母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について			

# 原案どおり 可決

平成 29 年度当初予算案を予算決算常任委員会で慎重に審議した結果、全会計とも原案どおり可決しました。

平成 30 年度開催の福井しあわせ元気国体、平成 31 年度開校予定の小浜美郷小学校の建設事業などの大型プロジェクトが本格化したことから予算の規模が拡大しました。

※ ( ) は前年度比較



※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

# 総額 269 億 3,888 万円 平成 29 年度当初予算

## 本年度の主な新規事業

### ふるさと未来づくり協働推進事業

1,750 万 8,000 円

「地域協働型のまちづくり」を推進するため、「地区まちづくり協議会」を設立した地区に「ふるさと未来づくり協働推進事業交付金」を交付する。

### 若狭広域行政事務組合負担金 727 万円

小浜市・高浜町・おおい町・若狭町の4市町で若狭広域行政事務組合を設立するもので、設立準備委員会および組合の管理運営分に対する負担金。

### 原子力災害対策施設整備事業 3 億円

原子力災害時における住民等の安全を確保するため、市役所4階フロアに原子力災害対策施設整備工事を実施するもの。

### 地域包括支援センター運営事業

1,740 万 5,000 円

高齢者人口の増加に伴い、相談体制を拡充するため、地域包括支援センターを1箇所増設する。

### OBAMAでしあわせ応援事業

181 万 1,000 円

結婚を望む若者の新たな出会いの場をつくるため、イベントの開催やしあわせ請負隊の育成、ホームページでの情報提供等を行う。

### 杉田玄白没後200年記念

#### 食と健康づくり事業 178 万 5,000 円

杉田玄白の教えを改めて市民と学び確認し健康づくりにつなげるとともに、本市の食育事業を広くPRする。「現代版養生七不可（仮称）」の作成および普及啓発、杉田玄白没後200年記念展示

### ビジットOBAMA推進事業

1,361 万 1,000 円

国内外の観光客を誘致するため、2次交通を整備し、受け入れ整備および誘客促進のための海外も含めた営業や出向宣伝等を実施する。（周遊レトロバス運行、若狭ライナーラッピング、観光タクシー補助金等）

#### 地域医療シンポジウム事業 15 万円

杉田玄白の偉業を知り、その生きざまを学ぶことを通じて、次世代の育成を図るとともに、「養生七不可」を生かした健康づくりへの取り組みを推進する。（いきいきシルバーフェア、地域医療シンポジウムの開催）

● ホームページをご覧ください ●

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信（本会議終了後約2週間程度で視聴できます）など、さまざまな情報を発信しています。

小浜市議会

検索

#### 講演会開催事業

50 万円

日本の近代医学の基礎を築いた杉田玄白の功績を顕彰するため、「杉田玄白没後200年記念講演会」を開催する。

# 委員会審査

## 予算決算常任委員会 (3月補正)

### ◆除雪対策費 5500万円

【説明】平成29年1月の想定外の積雪に伴う除雪費用の補正。

【問】除雪車両やオペレーターは以前より増えているのか。

【答】車両は少しずつ増強しているが、オペレーターは代わりがない状況。今後は業会に聞き取りを行い検討していく。

## 予算決算常任委員会 (平成29年度当初予算)

### ◆新まちづくり基本構想および基本計画策定事業 315万9000円

【説明】北陸新幹線小浜駅開業を見据えたまちづくりのための調査を行う。

【問】北陸新幹線のスケジュール想定は県と調整して作られたものか。

【答】市が考えたものであり、環境アセスメントで3年、用地買収に4年、工事に6年を当てはめた。

### ◆原子力災害対策施設整備事業 3億円

【説明】市役所4階フロアを原子力災害時の災害対策拠点とするもの。

【問】4階フロアに設置する理由と今後のスケジュールを問う。

【答】現在4階には防災無線の基地局、県の防災ネットワークもあり、4階大会議室を災害対策本部とするため。おおむね1年はかかるかと考えている。

### ◆税務総務事務経費 913万円

【説明】コンビニ収納等に係る経費。

【問】今年4月に始まるコンビニ収納サービスはどのような科目で実施するのか。

【答】個人市民税・固定資産税・都市計画税・軽自動車税・国民健康保険税・上下水道使用料で実施する。

### ◆子ども医療費助成事業 7313万円

【説明】0歳〜15歳に達する年度末にかかる医療費の助成。

【問】子ども医療費の窓口無料化への進捗状況は。

【答】平成30年度に県内一斉に実施できるように、県を中心に検討を進めている。

### ◆都市再生整備計画事業(小浜地区中・西部地域) 1億3200万円 2000円

【説明】地域内の街路整備工事や広場整備事業などを行う。

### ◆社会資本整備(街路・小浜縦貫線) 2億9841万円

【説明】小浜縦貫線の拡幅整備を行う。

【問】どのような景観形成とまちづくりをしているのか。

【答】三丁町の無電柱化工事、鯖街道資料館と(仮称)いづみの広場の整備を地元研究会の意見を聞きながら進める。

## 総務民生常任委員会

### ◆議案第22号 小浜市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

【説明】育児休業等の対象となる子の範囲拡大、非常勤職員の育児休業取得要件の緩和。

【問】条例改正による育児休業取得希望はあるのか。

【答】取得ケースは少ないかもしれないが、周知に努め活用していきたい。

【意見】フォロー体制を構築し、生きた条例・制度にしてほしい。

### ◆議案第35号 若狭広域行政事務組合の設立について

【説明】小浜市・高浜町・おおい町・若狭町の1市3町で、可燃ごみや要介護認定等、その他広域的な課題に関する事務を共同処理するため、規約を定め、若狭広域行政事務組合を設立するもの。

【問】要介護認定に係る審査・判定に関する負担金の精算は行いつのか。

【答】精算は行わず、負担金は前々年度の実績を根拠として算定する。

【問】実績ごみ量割の負担金の精算は行いつのか。

【答】各市町の一般廃棄物処理実態調査の数値を使用し、2年前のごみ実績にて負担割合を決める。実績による精算は行わないが、災害等で極端に増えた場合は協定書等で別途協議する旨の記事を考えている。

## 産業教育常任委員会

### ◆議案第33号 小浜市農業集落排水施設の設置および管理に関する条例の一部改正について

【説明】下水道事業の経営原則である「独立採算制と受益者負担の原則」に鑑み、将来にわたり健全な管理運営を維持していくために使用料を改正するもの。

【問】抜本的な改革が必要であると考えますが、独立採算制について市の考えを問う。

【答】公共下水道区域に隣接しているところは将来的に公共下水道に統合し、起債償還については低い金利への借り換えを認めてもらえるよう国に要望を続けるなど、できるところから改善していきたい。

### ◆議案第38号 道の駅「若狭おばま」の指定管理者の指定について

【説明】(株)まちづくり小浜を道の駅若狭おばまの指定管理者に指定するもの。

【問】なぜ公募を行わなかったのか。現在の指定管理者の管理運営能力をどう評価しているのか。

【答】指定管理者の(株)まちづくり小浜は市内外の観光施策に密接に関わっている現状をふまえ、市の条例に基づく指定管理者の指定等に関する事務処理指針により、現在の管理者を継続させることが望ましいと判断した。

## —自由討議—

【意見】道の駅の運営に関し、わかりやすいルールを作るべきではないか。

【意見】指定管理者の選定は、公募を行って競争原理を働かせることで、市内の観光産業全体を活性化につなげなければならぬ。

# 政務活動費 後払い制へ

政務活動費は、小浜市議会議員の市政に関する調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として交付されるものです。

小浜市議会では月額2万円（年額24万円）が各議員に交付されています。

平成20年度には1円からの領収書の添付を義務化し、収支報告書類をホームページで公開するなど、議会の「見える化」に努めてきました。

しかしながら、全国的には政務活動費の不正使用が相次いで発覚しているのが現状です。

そこで、政務活動費の適正な運用・使い道の透明性確保を図るため、3月定例会において、「前払い制」から「後払い制」にするなど「政務活動費の交付に関する条例」を改正しました。

## 主な改正点

●前払い制から後払い制へ

平成28年度までは、年度の初めに政務活動費を各議員に交付し、翌年4月に収支報告を行い、残余金がある場合は返還する「前払い制」をとっていました。しかし、この方法は「交付された額を使い切るという意識が働くのではないか」といった指摘があります。

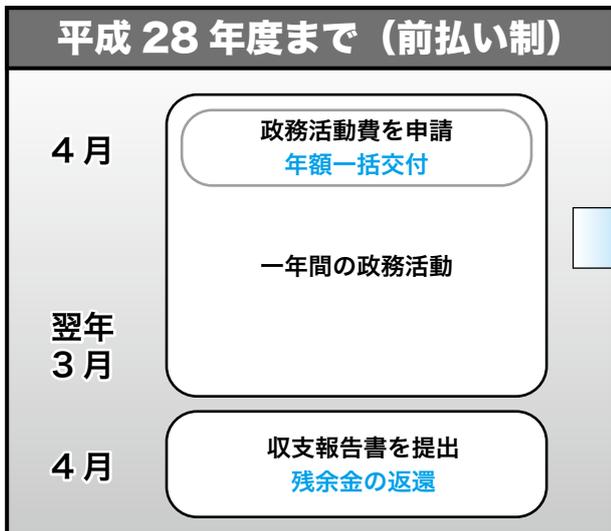
このことから、小浜市議会では平成29年度から「後払い制」を採用し、年額上限に、その年度の政務活動に要した額を年度終了後に交付します。

●領収書は原則として原本を添付することを明確化

●研修や要望活動については実施報告書の添付を義務付け

●不正に政務活動費を受け取った場合の返還を規定

## 後払い制のイメージ



議会運営委員会で議論



より「見える」議会を目指して

# 委員会視察・中央要望活動報告

## 産業教育常任委員会

### 【視察日】

平成29年1月16日(月)  
17日(火)

### 【視察先】

滋賀県東近江市  
愛知県大府市

### 【研修内容】

特定空き家を含めた  
空き家対策事業の取  
組みについて

東近江市では総務課  
が中心となり各課が連  
携して事業を行って  
おり、小浜市より2、3  
年以上進んでいる印象  
を受けました。

空き家の持ち主への  
意向調査、家屋内部ま  
での現状調査を積極的  
に行い、現在では特定  
空き家を3棟解体、再  
生できる空き家はリ  
フォーム後、グループ  
ホーム事業や古民家カ  
フェをオープンさせる

など着実に事業が進ん  
でおり、公費を投入し  
ても空き家をなくし  
ていくという行政の熱  
意が感じられました。



東近江市役所にて

### 【研修内容】

市立図書館の統合と  
利用促進について

大府市は毎年500  
人以上人口が増えてい  
る自治体で、事業はP  
FI方式で進められて  
います。視察した「お



おおぶ文化交流の杜にて

おぶ文化交流の杜」は  
市民ホールも含め利用  
頻度が高く、名古屋ま  
で車で30分という地の  
利が生かされています。  
小浜市などの地方  
都市とは基本的に考え  
方が違う事を実感しま  
したが、今後の図書館  
などの運営について、  
利便性の向上も含め、  
システム化や連携事業  
の重要性を学びまし  
た。

北陸新幹線 小浜駅に  
関する中央要望活動  
を行いました

### 【実施日】

平成29年2月1日(木)  
2日(金)

正副議長、北陸新幹  
線小浜・京都ルート早  
期実現特別委員会正副  
委員長が、市長および  
関係職員とともに、石  
井国土交通大臣をはじ  
め、与党PTの正副座  
長、検討委員会、福井  
県選出国会議員など18  
名に対し、北陸新幹線  
に関する中央要望を  
実施しました。



茂木 PT 座長へ要望

## 議会を傍聴しませんか？

住所と氏名を書くだけで傍聴することができます。  
小浜市役所5階の議会事務局までお越しください。

### 一次回定例会の日程

6月8日(木)	本会議
6月22日(木)	一般質問
6月23日(金)	一般質問
6月29日(木)	本会議

## ●3月定例会で可決した意見書

▽参議院選挙における合区の解消に関する意見書

### 【概要】

昨年7月10日に憲政史上初の合区による選挙が  
実施されたが、意思形成を図る上で、都道府県ご  
とに集約された意思が参議院を通じて国政に届け  
られなくなるのは非常に問題である。  
今回の合区による選挙はあくまで緊急避難措置  
であり、公職選挙法の附則において、抜本的な見  
直し規定されていることから、合区を早急に  
解消し、都道府県単位による代表が国政に参加す  
ることが可能な選挙制度の構築を強く求めるもの。

# 市政を問う！一般質問

平成29年第1回（3月）小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

ページ	氏名	質問項目
9	佐久間 博	1. 琵琶湖若狭湾快速鉄道と北陸新幹線開業について 2. 北陸新幹線敦賀開業に向けた取り組みについて
9	藤田 靖人	1. 福井しあわせ元気国体について 2. 空き家対策とまちづくり
10	風呂 繁昭	1. 平成29年度当初予算、事業計画について 2. 食のまちづくりへの回帰
10	藤田 善平	1. 交通網の整備を問う 2. 農業振興策を問う 3. 空き家対策を問う

ページ	氏名	質問項目
10	牧岡 輝雄	1. 地域福祉計画について 2. 空き家、空き店舗の適正管理について 3. 地域防災力について
11	能登 恵子	1. 小規模特認校という考え 2. 小浜市役所の非正規・臨時職員の賃金について
11	熊谷 久恵	1. 除雪について 2. 人財を活かす 3. 政策観光を



佐久間 博  
議員

琵琶湖若狭湾快速鉄道運動断念の経緯は。

北陸新幹線小浜・京都ルートの実現により、快速鉄道の目的が達成される。県と嶺南6市町で協議した。

市民への周知は。

住民の会には3月に若狭町で合同の説明会を予定している。

嶺南鉄道整備促進基金の取り扱いは。

総額で80億余りの積立金について、平成29年中に県と嶺南6市町とで協議する。

新幹線小浜駅の場所と財源確保の要望は。

建設財源確保、新駅の場所は利便性の高い場所へと要望する。

快速鉄道の総括と北陸新幹線開通時期の目標を市長に問う。

小浜・京都ルートでの決定で移動時間

## 北陸新幹線敦賀開業を見据えた準備を！

短縮になり、運動の成果である。北海道新幹線札幌開業2030年までの実現を目標とする。

北陸新幹線敦賀開業が5年後に迫るが、交通アクセスは。

舞鶴若狭自動車道の4車線化、高速路線バス等二次交通確保に向けてバスターミナルの整備を目指す。

観光地の整備は。

観光資源を生かし「内外海地区活性化計画」等魅力アップする。

食のまち小浜の期待に応える準備は。

「食のまちづくり原点回帰」のもと、国内外へ発信していく。

観光パンフレットなどの具体策は。

より良いものをつくりあげ、PRする。

北陸新幹線敦賀開業への市長の考えは。

敦賀開業は画期的なチャンス。新たな観光資源を創り出すのではなく、小浜の良い所をみがく。嶺南各市町と連携も必要と考える。



藤田 靖人  
議員

福井国体・小浜市開催競技について

駐車場の確保について問う。

合わせて約990台分の臨時駐車場を設け、シャトルバスにより対応する予定である。

市民ボランティアの確保のための取り組み状況について問う。

本市で開催する各競技に必要な600名のボランティアを募集している。

当市で開催される競技のルールや有名選手の紹介など国体競技の広報について問う。

1年前イベントの開催、各種イベントや各地域行事に向き、紹介、PRをする。

整備した競技会場について、国体後の有効な活用は。

今回整備した体育施設を活用し、新たな

## 福井国体と空き家対策について

なスポーツ大会の開催や合宿の誘致等、スポーツを観光資源とする地域活性化を推進してまいりたい。

空き家対策について

空き家相談に対する民間との協力体制は。

市と不動産業者や建築関係者、法律専門家、各業会団体が協力した委員会での取り組みを現在検討中である。

空き家対策で市役所内の各課の連携は。

庁内の12課による空き家対策会議を行い情報共有に取り組んでいる。

新幹線駅を見据え、空き家の移住・定住に向けたまちづくりへの生かし方について。

魅力的と思われる情報の発信が重要で、移住定住の有益な情報を掲載したサイトを立ち上げた。東京での移住フェアなどにも参加し、移住施策をまちづくりにつなげていく。



風呂 繁昭  
議員

過去2番目に多い平成29年度当初予算であるが、特に力を入れた点について、市長にお尋ねする。

1. 小浜を研ぐ。2. 食のまちづくりの原点回帰。3. 市民の期待に対応する。4. 既存事業の見直し。小浜が有する自然や食、文化、歴史等の資源を研ぎあげ、産業、観光、文化、教育、生活、行政を研ぐ。「食」から健康を増進していただき「鯖」をはじめ「食材」を育て、観光や産業に波及させる。「小浜美郷小学校の建設」や「福井しあわせ元気国体」の準備。北陸新幹線小浜駅開業を見据えた魅力あるまちづくりに取り組み。

## 過去2番目に多い当初予算、力を入れた点

「街道」が日本遺産第1号に認定されて2年経過した。早くから焼き鯖寿司製造企業にも小浜市が助成金を出している。もう少しスピードに進められなかったのか。「鯖」に焦点を当てた事業と情報発信の取り組みを問う。

「鯖街道を歩きたい」「鯖街道の起点で美味しい鯖を食べたい」という声が多い中、誘客や産業につなげていくブランドを確立させる。鯖街道ブランドの鯖に焦点を当てて様々な事業を展開する。今年度は地方創生の一環として「鯖、復活プロジェクト」を立ち上げ、マサバ養殖に取り組んだ。小浜の養殖鯖のブランドの確立のため、インターネットを通じて資金を集めるクラウドファンディングで出資者を募り、東京、大阪、京都のアンテナ料理店の展開を計画している。



藤田 善平  
議員

北陸新幹線小浜・京都ルート決定を受けての今後の計画を問う。

小浜市民の40年来の悲願であり、我々が求めてきた「小浜・京都ルート」に決定したことは大変喜ばしく、本市の飛躍的な発展に大きく寄与するものと確信している。実現すると小浜・京都間が約19分で結ばれることになり、短時間で大量輸送が可能になり、交流人口の拡大、企業進出による新たな雇用創出、関西が通勤・通学圏内になるなど、本市にとって大きな効果をもたらすとともに、新しいまちづくりが可能になる。来年度からは駅やルートの公表に向けた詳細調査が始まるため、3年程度かけて新たなまちづくりのための基本構想、

## 祝！北陸新幹線小浜・京都ルート決定

基本計画を策定していきたいと考えている。

非農業者の農地の売買に関する条件について問う。

農地を売買する場合合には、農地法に基づく許可が必要であり、許可後の耕作面積については、地域ごとに設定された下限面積を超えなければならぬとされている。

農地中間管理事業、多面的機能支払交付金事業の現状を問う。

農地中間管理事業を活用した集落営農組織の設立と土地改良事業も併せて検討してほしい。

空き家の現状、小浜市の条例制定の進捗状況、空き家所有者または管理者の空き家解体後のメリツトについての検討、空き家バンクの設置や移住の推進策、解体積立金の制度化について問う。

専門家で構成する委員会にて検討中である。



牧岡 輝雄  
議員

地域福祉計画の基本理念とは。

第5次小浜市総合計画における「協働」と「地域力」の考えに基づいたもので、その原動力である「地域力」を高め、結果すること、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくりが実現すると考える。

子育て支援についての取り組みは。

「小浜市子ども子育て支援事業計画」に基づき、一人ひとりの子どもが健やかに育ち社会の一員として成長できるように地域や関係機関と連携して社会全体で子育て支援をしていく。乳児家庭の全戸訪問の実施や育児相談、講座の提供等、子どもを持つ世帯が安心して就労できるよう延長保育や一時預か

## みんなで支えあう地域福祉について

り、放課後児童クラブの実施を行っている。

子どもの貧困についての取り組みは。

子どもも未来課に家庭相談員や母子・父子自立支援員を配置し、子育て世代の負担軽減を図る施策と合わせて保育園、学校、地域、行政等が連携をし、それぞれの家庭に応じた支援を行っている。

災害時における地域連携について伺う。

災害を最小限に抑えるためには、「自助」「共助」が重要であり、地域の自主防災組織の存在、活動が不可欠である。また、防災訓練等による防災知識の習得や初動対応の確認等により地域防災力を高めていく必要がある。住民の安全安心な暮らしのためには、様々な地域活動の中でも自主防災活動や防犯活動を通じた地域連携の強化が重要であると考えている。

# 一般質問



能登 恵子  
議員

問 小浜市役所の非正規・臨時職員の中で、一般事務職の賃金は嶺南市町の中で最低。今期770円から800円に改定するが、それでも安い賃金との声が聞こえる。妥当だと思うか。人口減少対策を考えた賃金なのか。

答 労働力不足の中で、良い人材確保のため市長の考えを問う。

問 他市町と比べても、低い賃金や報酬ではないと認識している。今回の改定は、特に人口減少対策に視点を置いたものではないが、今後検討する。適正な賃金等の中で優秀な人材を確保していくことが大切と考える。仕事のやりがいや働きやすい環境、レベルアップ研修、福利厚生等の充実に取り組みすることも重要。

## 賃金や学校の在り方で、人口減少対策も

問 「小規模特認校」とも重要。

答 平成16年に作成した「小学校編成」資料から、1973年に文科省から①学校規模を重視する無理な学校統合をしてはならない②小規模校には教育上の利点があるので、残して充実することが望ましいという「Uターン通達」が出た後に作られた計画・提言通達だが、内容的に大規模校ありきの偏った答申だと思うし、ここに書かれた数字がすでに違ってきている。小規模特認校という視点も入れ、公平な見直しが必要だと思う。

問 小浜市のように小学校単独での統合を進める自治体や、小中一貫校、統合をしないなど取り組みは様々。今後「小規模特認校」の特徴なども参考に、小浜美郷小学校開校以降、再度検討委員会を立ち上げ、小浜市において最適な学校教育の在り方や方向性を検討したい。



熊谷 久恵  
議員

問 今回の除雪体制は。積雪深60cmに達する警戒体制。しかし道路除雪は100cm以上の緊急体制に準じた。

答 道路の除雪状況は。積雪深10cmに達し除雪開始、全地区の除雪路線約260kmで市保有・業者委託の全除雪車両30台をフル出勤。人員交代や短時間仮眠を挟み、ほぼ連続して除雪対応。

問 除雪遅れの要因は。

答 24時間降雪量81cmを記録、ピーク時は毎時10cm超えの降雪が6時間継続により、除雪車両の作業能力を超え、路肩残雪も膨大となり道路幅員の確保困難になった事も要因。

問 除雪計画見直しは。

答 除雪受託業者等から意見聴取し地元要望に少しでも応えられるよう機械の配置を検討予定。しかし機

## 大雪の経験から学び、未来に生かす

問 機械除雪は限界があり、地域の協力も必要。

答 要望 路線利用率が上昇している地域もある。通学路は優先除雪するなど、業者の意見、現場の声、地元要望にも応えた道路除雪計画の見直しを願う。

問 地域が出来る協力とは。

答 地域除雪があり申請に基づき除雪に伴う燃料・保険・修繕費など助成制度がある。本年度は16区へ助成。

問 要望 区の規模により地域除雪がままならないところもある。対策が必要である。

問 雪に慣れていない方への心構えや周知は。

答 路上駐車禁止等、地域や職場での雪対策協力を、HPや文字放送、防災無線も活用し、周知拡充を検討。

問 意見 市民の安全が第一。判断・行動するには情報が重要。早い周知が自主防災に繋がる。

あなたの1枚で表紙を飾ってみませんか??

## 小浜市議会だよりの表紙写真募集中!!

詳しい要項や過去の議会だよりの表紙は小浜市議会ホームページをご覧ください。ご応募をお待ちしています。

### 【応募規定】

1. 小浜市内で撮影された未発表のもの
  2. 画像データは1作品2~3MB程度のJPEGデータ
- ※ メール受信の都合上、画像のデータサイズは2~3MB程度をお願いします。

### 【応募方法】

- ・ 応募は、データの持参またはメールをお願いします。

メールアドレス：

[gikai@city.obama.fukui.jp](mailto:gikai@city.obama.fukui.jp)

- ・ 作品名には①題名、②撮影場所、③撮影日時、④住所、⑤氏名、⑥電話番号を明記してください。

### 【その他】

- ・ 撮影した人物や対象物が個人の所有物である場合には、必ずご本人または所有者の承諾を得てください。(肖像権に関する責任はすべて応募者に属します。)
- ・ 提出された写真は必要に応じてトリミング等を行うことをご了承ください。
- ・ 応募いただいた画像は広報委員会で選考の上、掲載させていただきます。

紙面の都合等で掲載できない場合がございますがご了承ください。

今月の表紙

## 「思い出の桜」

撮影者：山口 貞夫さん(小浜神田)  
撮影場所：旧上根来小学校

## ガイドをしているときが 一番楽しいです

会長 羽野 二郎さん



### —「若狭の語り部」設立の経緯は

平成6年に市の観光担当課主導で「語り部養成講座」が開かれました。その卒業生の希望者から「若狭の語り部」が発足しました。以前から歴史を学んでおられた「郷土史研究会」の方々のご尽力も大きかったと思います。

現在の会員数は36名で、設立当初の会員も半数の方が活躍しておられます。

### —どのような研修をされていますか

会員が講師となる内部研修や外部講師をお呼びする研修を年6～7回実施しているほか、県の連合会の先進地視察にも参加しています。また、県外視察を年2回実施しており、現地のガイドさんと情報交換を行い、切磋琢磨させていただいています。

会のモットーは「現場100回」。経験を積むことが大切です。

### —ボランティアガイドの内容は

おひとり様から団体様まで、場所を問わず対応しています。ガイド料として、人数・時間に関わらず1回1,000円を運営協力金としていただいています。お客様と1対1でお寺巡りをする場合もあれば、バス10台の団体様に会員20人に対応したこともあります。

観光客の方はもちろん、地元の人に小浜の良さを語り継ぐために、学校での郷土学習や、公民館の歴史教室などにも出向いています。

私たちは大好きな小浜を自慢したいという思いがあるので、ガイドをしているときが一番楽しいです。「若狭の語り部」の「学ぶ」「語る」「歩く」活動で、健康で若々しく活動的にいられますよ。

### —今後の目標をお聞かせください

小浜の良さを語り継いでくださる新入会員の方を探していきます。予約なしで利用できる常駐のガイド（リアルタイムガイド）が実施できるほど多くの方にお越しいただきたいですね。



研修を重ねる



子どもたちに語りつく



ガイド風景



取材の様子

## 編集後記

北陸新幹線でルートが決まっていなかった京都～新大阪間について、3月15日に、京都府京田辺市のJR片町線松井山手駅付近に新駅を設置する「南回り」に正式決定しました。これで1973年の北陸新幹線整備計画決定から43年余りを経て全ルートが確定しました。

今後は未着工区間（敦賀～新大阪）の早期開業に向けた財源の確保が重要となってきますが、実際に完成しなければ北陸新幹線の効果は現れません。一日も早い大阪までの全線開業を期待します。

広報委員会では、市民の皆様に関心しやすい議会だよりをお届けできるよう取り組んでおりますので、ご意見等ありましたらご連絡ください。

また、議会だより表紙写真へのご応募もお待ちしております。  
(広報委員 竹本)

## 議会報告会を開催します

どなたでもご都合のつく日時・会場にお気軽にお越しください

### ■日時・会場

5月10日（水） 19時～21時

宮川、国富、西津、遠敷の各公民館

5月16日（火） 19時～21時

今富、加斗、小浜、口名田の各公民館

5月18日（木） 19時～21時

内外海、雲浜、中名田、松永の各公民館

### ■内 容

- ①定例会の報告について
- ②政務活動費について
- ③除雪と自主防災組織について
- ④意見交換